



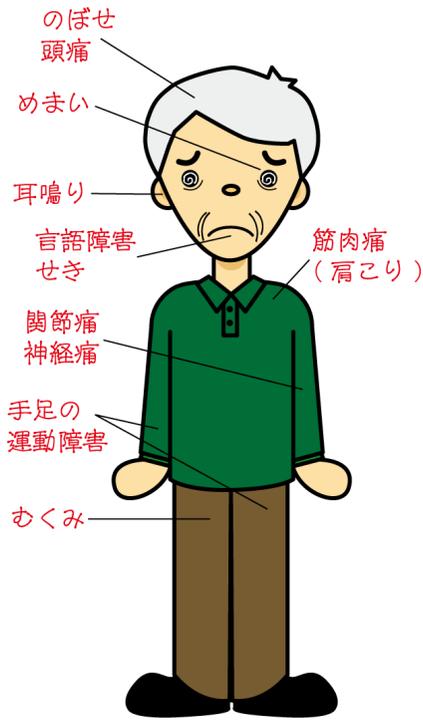
続命湯 (ぞくめいとう)

【処方コンセプト】手足のしびれや、言葉のもつれのある人。

続命湯は、脳卒中の後遺症でよく現われる言葉のもつれ、手足のしびれなどに用いる処方である。経験的には発作後、服用が早ければ早いほど症状の回復を早めてくれる。社会復帰のためのリハビリには欠かせないものである。

◆ ストレスの多い昨今、肥満や飽食も手伝って高血圧、動脈硬化などの血管障害を引き起こす生活習慣病が増えた。その年齢層も年々若年化する傾向にある。中でも脳卒中は救命治療の発達により、亡くなる人は以前より少なくなったものの、患者数は依然減っていない。とくに脳卒中の後遺症は、運動障害や知覚マヒなどによりQOL（生活の質）を低下させ、認知症や寝たきりにつながるケースもある。

◆ 続命湯は漢方の古典（金匱要略）では「古今録験の続命湯は、中風（チュウフウ：半身不随）、痲（ヒ：麻痺）にて身体自ら収むること能わず（自分で自分の身体を動かすことができない）、口言う能わず（言おうと思っても言葉が出ない）、冒昧（ホウマイ：はっきりしない）にして



痛むところを知らず、或いは拘急（コウキウ：手足がひきつれる）して転倒するを得ざる（寝返りもできない）を治す」と記されており、現代でいう脳卒中の後遺症によいこと（漢方の飲むリハビリ薬）がわかる。

◆ 最近の脳卒中の傾向として、脳出血より脳梗塞の方が多くなっている。脳梗塞で血流が悪くなったタイプには続命湯が適する。

※次のようなケースにも用いられている。

* 卒中発作後に身体が思い通りにならないため、うつ症状を起こしやすい方。

* 糖尿病でヘモグロビンA1cの高い方。

* 咳や喘息のある方。（処方の中に麻杏甘石湯が含まれている）

【処方構成】9味

当帰(トウキ)、川芎(センキュウ)、桂皮(ケイヒ)の3つが主薬で、脳や手足をはじめ全身の血液循環の改善、しびれやマヒ感、言葉のもつれを除く作用がある。それに麻黄(マオウ)と石膏(セッコウ)の組み合わせによる利尿作用で、浮腫を去り主薬の血液循環の改善を助ける。また、人参(ニンジン)、甘草(カンゾウ)、生姜(ショウキョウ)の3つは補気薬で、消化吸収力をよくして、全身の運動能力を高め、杏仁(キョウニン)の止咳去痰で、言葉のもつれの改善に協力する作用が加わっている。血液循環の改善、利尿消腫、補気、止咳去痰などにより、手足のしびれや言葉のもつれを改善する。

マオウ
セッコウ } 消腫

トウキ
センキュウ
ケイヒ } 通陽活血

ニンジン
ショウキョウ
カンゾウ } 補気健脾

キョウニン — 止咳・去痰

	補気					利水		理気			解表				清熱		補血		活血			他 炮附子	配 合 生 薬 数		
	人 参	甘 草	黄 耆	大 棗	麦 門 冬	茯 苓	蒼 朮	陳 皮	半 夏	杏 仁	麻 黄	桂 皮	生 姜	防 風	菊 花	釣 藤 鈎	石 膏	当 歸	芍 薬	川 芎	紅 花			桃 仁	地 竜
続命湯	○	○								○	○	○	○				○	○		○					9
補陽還五湯			○															○	○	○	○	○	○		7
釣藤散	○	○				○	○		○				○	○	○	○									11
桂枝加朮附湯		○		○			○					○	○					○						○	7

処方名	類方鑑別
続命湯	脳卒中であれて、手足のしびれや言葉のもつれがある方に。また、その前兆がある方にも。
補陽還五湯	脳卒中後遺症で、体力が落ちて、慢性化した方に。
釣藤散	血圧が高く、頭痛持ちで、ストレスにより血圧が上昇しやすい方の精神安定に。
桂枝加朮附湯	衰弱がひどく、体が冷え、体の自由がきかず、大小便を失禁しやすい方に。